



私の3冊

阿部理奈

後輩に薦める 2 冊

酒向正春（監修），大村優慈（著）

コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像

メジカルビュー社，2016 年発行

脳外科医・リハビリテーション医である先生が監修されており，解剖〜リハビリテーションへの応用など感動的にまとめてあります。私的には数ある脳画像の本のなかで最もわかりやすく，読みきると脳が冴えわたります。この本をもとにコメディカルへの学習会を開催してから，患者の残存機能に着目し，生活機能の肯定的側面に目を向けるスタッフが増えました。錐体路・感覚路の位置とホムンクルスとの対比図はあまりにもわかりやすく，重宝しています。誰でも気軽に楽しみながら脳画像を学べます。

日本臨床神経生理学会筋・末梢神経電気診断技術向上委員会認定委員会，日本臨床神経生理学会認定委員会（編）

モノグラフ 神経筋電気診断を基礎から学ぶ人のために

日本臨床神経生理学会，2013 年発行

電気生理学の世界は難関かつ複雑です。しかし，謎が解けた時には大量のドーパミンが放出されるほどの達成感が味わえます。この本は，ME の基礎知識，機械の設定，末梢神経〜神経根，各神経筋疾患の診断など小項目にわかれ，基本と応用をマニアックに叩き込んでくれます。この本の熟読と臨床経験の積み重ねで日々成長できます。神経筋エコーの研究をする際に，この本の基礎的知識が大いに役に立っています。

自分の 1 冊

笠井史人，小島寿子（著）

基礎から学ぶ リハビリテーションと音楽療法 チーム医療に必要な知識と音楽アプローチ

音楽之友社，2013 年発行

「暗譜では弾けない，楽譜をみれば弾ける」という脳卒中患者を担当し，音楽をする脳に関心をもちました。そんな時，リハビリテーションの専門医と音楽療法士の出会いから生まれたこの 1 冊を知りました。運動野における手や口をつかさどる割合は大きく，楽器演奏や歌唄に積極的にかかわる時に脳はフル回転する。音楽療法は治療的活動であることを踏まえ，疾患別にどのようなリハビリテーションや音楽を提供するか，具体的にかつリズムある優しい言葉で綴られています。

■あべ・りな 医師 15 年目 宮城厚生協会長町病院リハビリテーション科

リハビリテーション科専門医として回復期病棟（脳卒中・整形疾患を主）に勤務。研修委員として，コメディカルへの講義を担当。日本臨床神経生理学会認定医として，電気生理学・神経筋骨格系超音波検査に熱を入れる。ハーブを趣味とし「音楽は病気ではなく心に訴えかける。人らしく健康で幸せにいる秘訣は，生活の中に上手に音楽を取り入れること」という思いを強くし，音楽療法を病棟に取り入れている。